

## スクラップ評価額がある場合の最低制限価格の計算例

$$\begin{aligned} & (\text{「直接工事費の額」} \times 9.7 / 10) \\ & + (\text{「共通仮設費の額」} \times 9 / 10) \\ & + (\text{「現場管理費の額」} \times 9 / 10) \\ & + (\text{「一般管理費等の額」} \times 6.8 / 10) \\ & - \underline{\text{「スクラップ評価額」}} \\ & = \text{最低制限価格 (千円未満切捨て)} \end{aligned}$$

(例) 予定価格 38,140,000 (設計金額 (万円止め)) の場合

・ 直接工事費	22,385,284
・ 共通仮設費	4,863,360
・ 現場管理費	5,636,000
・ 一般管理費等	5,288,642
・ スクラップ評価額	△26,848



$$\begin{aligned} & (\text{「22,385,284」} \times 9.7 / 10) \\ & + (\text{「4,863,360」} \times 9 / 10) \\ & + (\text{「5,636,000」} \times 9 / 10) \\ & + (\text{「5,288,642」} \times 6.8 / 10) \\ & - \underline{\text{「26,848」}} \\ & = \underline{\underline{\text{34,732,000円 (千円未満切捨て) 【最低制限価格】}}} \end{aligned}$$

※ 予定価格の 89.26% (予定価格の 10 分の 7.5 から 10 分の 9.2 の範囲内)